

# 令和6年度 授業改善推進プラン 国語科 (大森第三中学校)

〈昨年度の授業改善推進プランの検証〉

## ★取り組みにおける成果と課題

・学習課題の文章を落ち着いて丁寧に読み、内容を正確に捉え、その内容に対して自分の考えをもつことを常に目指している。その基盤として、各授業での集中する雰囲気づくりを大切に進める。意欲的に取り組む生徒も増えている。また、そのうえで、「文章を書く力」「発表する力」を伸ばすために、表現する機会を増やすことを目指す。今後も生徒それぞれに、語彙を増やし適切に使えるようにして、表現に生かせるよう、指導を継続する。

・話の意図を理解しようとする、「聞く意識」を身につける。意識づけのうえにリスニングテストを取り入れた結果として、メモを取りながら要旨をしっかりと聞き取る力が伸びている。

・機会を増やして、漢字や語句など、国語の基礎・基本的な力を定着できるよう努める。そのために、漢字ワークやプリント、小テスト、語句を用いた短作文などに取り組みせ、反復練習を継続する。苦手意識をもつ生徒を少しずつ減らす。

・生徒の意欲を引き出すための指導、工夫を続ける。

## 〈国語科の内容別結果の分析〉(区・学習効果測定)

内容	1年生	2年生	3年生
言語の特徴や使い方に	○【漢字を読む】2つの設問において正答率が目標値を上回ったが、1つの設問(批評ひひょう)は下回った。 ○【漢字を書く】「規模」「耕す」「暮れて」のすべての問題において目標値を下回った。 ○【文法・語句に関する事項】は、「敬語」「熟語の成り立ち」「ことわざの意味」に関する設問では目標値を上回ったが、未習事項の「連用修飾語」に関する設問では目標値を下回った。	○【漢字を読む】概ね目標値を上回り正答率も9割を越えているが「あらためる」に関しては目標値、全国平均を大きく下回った。 ○【漢字の書き】「忘れる」の正答率は目標値を超えているが、「興奮」「導く」に関しては目標値を下回った。 ○【文法・語句】全体的に目標値を下回ったが、故事成語に関しては目標値を上回った。	○【漢字を読む】1つの設問(敏腕)において正答率が目標値を上回ったが、2つの設問(欺く、兼ねる)は下回った。 ○【漢字を書く】1つの設問(預ける)において正答率が目標値を上回ったが、2つの設問(危険、順序)は下回った。 ○【文法・語句に関する事項】は、「対義語」「敬語」に関する設問では目標値を上回ったが、「助動詞」「古典の内容把握」に関する設問では目標値を下回った。
情報する扱事項方に	○【情報と情報との関係を問う問題】では、選択問題では目標値を大きく上回ることができたが、短い文で答える問題では目標値をわずかに上回るにとどまった。	○【情報と情報との関係を問う問題】では、説明的な文章の内容を読み取る問題でも、調べたことをスピーチする問題でも、目標値を上回った。	○【文章と図表を結びつけることを問う問題、紹介する文章を書く問題】で、内容の解釈を文章中より見つける問いでは目標値と近似の結果であった。下書きの文章を読んで、理解したことをまとめて伝える問いに対しては、目標値を下回った。
我が国に関する事語項文	○【ことわざの意味】の設問では、目標値に対してわずかに上回った。	○【歴史的仮名遣い】の設問は目標値を下回った。	○【現代語訳を手掛かりに古典を読む問題】では、内容を把握することが目標値を下回った。
話すこと・聞くこと	○【インタビューの内容を聞き取る】2つの設問において、目標値を上回る正答率であった。「意図に応じて、話の内容を捉え、適切な質問をしている」設問では、下回る結果になった。	○2つの設問において選択問題に関しては目標値をすべて上回ったが、記述問題に関しては目標値を大きく下回った。	○【発表練習の内容を聞き取る問題】で、「話し手の工夫の提案」の内容を確認する問いについては、目標値と近似の結果になった。しかし、話し手の考えを聞く問いや、特に、構成メモを見ながら発表内容をまとめる問いについては、目標値を下回る結果であった。
書くこと	○【文章を書く】設問では、目標値に対して正答率が全体的に下回った。特に、「2段落構成で文章を書く」設問や「自分の考えを明確にして書く」設問では大幅に目標値を下回った。	○4項目すべてにおいて目標値を上回った。特に、「指定された長さで文章を書いている」という項目は、目標値を大きく上回っている。	○【文章を書く問題】では、文章の下書きの中の補足の役割についての問いは、目標値と近似の結果だったが、特に、構成メモを見ながら発表内容をまとめる問いや、自分の考えを理由を明確にして伝える問いについては、目標値を下回る結果になった。
読むこと	○【説明的な文章を読み取る】全ての設問において、選択問題では目標値を上回った。 ○【文学的な文章を読み取る】全ての設問で、目標値を上回った。	○【説明文の内容を読み取る】2つの項目で目標値を上回ったが、「文章全体における段落の役割を捉えている」の項目は目標値を大きく下回った。 ○【文学作品の内容を読み取る】3項目すべてで目標値を上回った。	○【説明的な文章を読み取る問題】で、内容の解釈を文章中より見つける問いでは目標値と近似の結果であった。特に、内容把握や段落の構成を考える問いでは、目標値を下回る結果であった。 ○【文学的な文章を読み取る問題】で、人物の心情を考える問いでは、目標値を上回ることができた。しかし、表現の効果や人物の行動の意味についての問いは、目標値から下回る結果になった。

<国語の観点別結果の分析>(区・学習効果測定)

観点	1年生	2年生	3年生
知識・技能	<p>○【言語に関する知識】の設問で、「運用修飾」のような文法に関する課題が見られる。言葉の知識を少しずつ積み重ね、さらに伸ばしていく。</p> <p>○【漢字を読む・書く】今回の結果だけでなく、書くことを中心に漢字学習に意欲的に取り組み、さらに定着させていく。</p> <p>○内容に関して興味をもち、理解しようとする姿勢はある。読書習慣はあるが、読書が苦手な生徒もいる。学校図書館を有効活用し、興味をもたせ、本に親しむ機会を増やす。</p> <p>○今後に向けて、自分の考えを正確に表現するためにも、語彙力を高める努力をする。</p>	<p>○漢字の読み書きについて、目標値を下回るものがあり、第1学年までの復習が不完全であることがわかった。漢字テストや授業での復習を通して、基礎基本の知識として定着させたい。</p> <p>○文法や語句の知識に関しても、復習を徹底して定着を目指す。</p> <p>○読書習慣は浸透しているが、読書すること自体が苦手な生徒も多数存在する。図書室などを有効活用し、本に親しむ機会を増やす。定期的に基礎基本の定着に向けて復習を行う。</p>	<p>○【言語に関する知識】今後に向けて「文法」の復習、再確認が必要である。</p> <p>○【伝統的な言語文化】に関してはやや苦手意識があり、今後読み慣れることで克服する。</p> <p>○【漢字を読む・書く】幾度も書き慣れることで漢字学習に取り組み、定着させる。</p> <p>○読書習慣は浸透しているが、読書が苦手な生徒もいる。「情報の扱い方や読み取り方」を伸ばすためにも、学校図書館を有効活用し、興味をもたせ、本に親しむ機会を増やす。</p> <p>○自分の考えを正確に表現するために、語彙力を高める努力をする。</p>
思考・判断・表現	<p>○【話す・聞く】に関して、集中して話し手の意図するところ、内容を理解しようとする姿勢はあるが、まだまだ集中して聞くことのできない生徒もいる。また、内容をわかりやすく相手に伝えようと努力もできるが、表現の方法や話の構成については課題が残るなど、今後努力していく点がある。</p> <p>○【文章を書く】設問に関して、目標値を下回っている。文章を書くことそのものに対する苦手意識をもつ生徒に文章を書く意欲をもたせる。</p> <p>○内容を理解した上で自分の考えが伝わるように表現する力が足りない面がある。</p> <p>○【読む】に関しては現状でも目標値を上回るが、丁寧に文章に触れて、内容を正確に捉えることを目指す。</p>	<p>○【話す・聞く】に関して、集中して話し手の意図するところ、内容を理解しようとする意識が高い。また、一生懸命話そうとする意識はあるが、グループワーク等で深い話し合いに発展しないなど、伝えようとする力、順序立てて相手に伝える力、質問する力などが不足している。</p> <p>○書くことに関しては文章の構成や段落についての理解は高まっているが、文章読解に関する記述問題への苦手意識のある生徒が目立つ。</p>	<p>○【話す・聞く】に関して、目標値には届かないものの、集中して話し手の意図するところ、内容を理解しようとする姿勢はある。正確に聞き取る力を身につけさせる。メモの利用も意識させる。また、スピーチ、発表等で、周囲に分かりやすく聞き取りやすい話ができるよう、取り組む機会を増やすことを目指す。</p> <p>○【文章を書く】に関して、目標値には届かないものの、より良い文章に仕上げようと努力を重ねる生徒も多い。課題について考えを深め、構成を工夫して書く力を伸ばすことを目指す。自分の考えをわかりやすく伝えることを意識させる。</p> <p>○【読む】に関して目標値を下回るが、内容を正確に捉え、その内容に対して自分の考えをもつことを目指す。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>○課題に対して丁寧な記述が見られ、落ち着いて学習意欲の高い生徒もいる。発言など、授業に前向きな姿勢をもつ生徒は多い。集中力が続かない生徒の意欲を喚起することを目指す。</p> <p>○地道に努力して覚えたり、考えたりする作業を避ける傾向はあるので、粘り強さをもつことが今後の大きな課題である。</p>	<p>○何事にも一生懸命で、授業に対しては前向きな姿勢を見せる生徒が多い。課題などに自主的に取り組む生徒も多い反面、授業中の集中力に欠ける生徒も数人いる。探究的な授業を通して全体のさらなる意欲向上を目指す。</p>	<p>○【主体性】に関する設問も目標値は下回ったが、何事にも一生懸命で授業に前向きな姿勢をもつ生徒は多い。集中力が続かない生徒の意欲を喚起すること、自分で課題を考え進めることを目指す。</p> <p>○小テスト等への取り組みや提出物を仕上げることに意欲的である。地道に努力して覚えたり、考えたりする作業を避ける傾向はあるので、粘り強さをもたせることが大きな課題である。</p>

<国語科の課題と具体的な授業改善策>

	課題	具体的な授業改善策
1年	<p>○文章を落ち着いて丁寧に読み、内容を正確に捉え、その内容に対して自分の考え・思いをもつ。</p> <p>○話の意図を理解しようとする、「聞く意識」を身につける。</p> <p>○筋道を考え、相手に分かりやすく「話す」、「書く」力をつける。</p> <p>○文法の知識の定着を図り、使える語彙力の向上を目指す。</p> <p>○小学校習得漢字の復習を行い、中学校習得漢字を定着させる。</p>	<p>○自分の考えを正確に表現するために、語彙力を高める場面を増やす。</p> <p>○漢字や文法などのテストを定期的に行い、反復練習により定着を図る。</p> <p>○文章を書く、発表する機会を増やす。</p> <p>○読み慣れることで古典へ取り組む意欲をもたせる。</p> <p>○粘り強く課題に向かう姿勢を意識させる。</p>
2年	<p>○自身の意見を考案する際に、順序立てて筋道を考え、意見を要約して話す(書く)力をつける。</p> <p>○読解力向上を目指す。</p> <p>○記述問題への苦手意識をなくす。</p> <p>○漢字や文法、語句に関する知識の定着を図り、知識の習得とともに語彙力の向上をねらう。</p>	<p>○グループワークやプレゼンテーション等発表の機会を増やす。</p> <p>○折に触れて作文を書かせ、「書く」という作業に対する抵抗を少なくしていく。</p> <p>○問題集等を活用して読解問題に取り組ませる。</p> <p>○漢字テストなどの小テストを定期的に行い、反復練習により定着を図る。</p>
3年	<p>○文章を落ち着いて丁寧に読み、内容を正確に捉え、その内容に対して自分の考えをもつ。</p> <p>○話の意図を理解しようとする、「聞く意識」を身につける。</p> <p>○筋道を考え、相手に分かりやすく「話す」、「書く」力をつける。</p> <p>○漢字、文法の知識の定着を図り、使える語彙力の向上を目指す。</p>	<p>○自分の考えを正確に表現するために、語彙力を高める場面を作る、増やす。</p> <p>○単元別ワークシートや漢字のテストを定期的に行い、反復練習により定着を図る。</p> <p>○文章を書く、発表する機会を増やす。</p> <p>○読み慣れることで古典の苦手意識を克服する。</p> <p>○粘り強く課題に向かう姿勢を意識させる。</p>